

明代、清代の皇帝が「官窯」で造らせた陶磁器、中でも黄色に「竜鳳凰」の意匠は最高の吉祥文として皇帝だけが使用できたものです。  
深川製磁の初代深川忠次も世界最高の陶磁器造りを目指し、この意匠を明治期より描いております。

『 竜鳳凰錦手黄地 長命壺 』



中国皇帝のデザインは5本爪ですが、  
初代忠次は皇帝に敬意を表し四本爪の竜

壺、蓋、水抜き盤の三点揃い  
瑞鳥「鳳凰」は古来より高貴な文様です